

令和4年6月24日

幕別町議会議長 寺林 俊幸 様

民生常任委員会委員長 小田 新紀

民生常任委員会報告書

令和4年6月9日本委員会に付託された事件を審査した結果、次のとおり決定したので、会議規則第94条第1項の規定により報告する。

記

1 委員会開催日

令和4年6月9日、21日（2日間）

2 審査事件

陳情第3号 「高齢者のいのち・健康・人権を脅かす75歳以上医療費窓口負担2割化の中止を求める」陳情

3 陳情の趣旨

2021年6月4日参議院本会議で、75歳以上医療費窓口負担2割化法が可決された。この法律が実施されると、2022年後半から年収200万円以上の人370万人（後期高齢者医療制度加入者の約20%）が2割負担となる。

国会審議の中で、①2割負担導入による現役世代の負担軽減効果はわずか月額約30円であること、②コロナ禍の今、精神的にも経済的にも疲弊している中で高齢者への負担増は受診控えを招くことが、各種調査で明らかになっているにも拘わらず、政府は「健康悪化には結び付かない」としていること、③国会審議を経ずに2割負担増の対象者を、政令によって広げることができること等、数多くの問題点があきらかとなった。

コロナ禍でただでさえ高齢者の受診控えが進んでいる中、必要な医療が受けられなくなることを前提にした負担増は、高齢者のいのち・健康権・人権の侵害である。

強制加入の社会保険では、必要な給付は保険料だけでなく、公的負担と事業主負担で保障すべきです。先進国では、窓口負担無料が当たり前であることから、75歳以上医療費窓口負担2割化は中止するよう意見する。

4 審査の経過

審査に当たっては、陳情の趣旨等について論議がなされ、起立採決の結果可否同数となり、委員長裁決で結論をみた。

5 審査の結果

「不採択」すべきものと決した。